



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年11月9日

上場会社名 小池酸素工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6137 URL http://www.koikeox.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 横田 修
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 富岡 恭三 TEL 03-3624-3111
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	22,448	5.1	958	108.6	842	46.5	472	100.4
27年3月期第2四半期	21,352	17.0	459	—	575	—	236	—

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 347百万円 (58.2%) 27年3月期第2四半期 219百万円 (△49.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	11.43	—
27年3月期第2四半期	5.70	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	54,976	29,246	49.6	658.82
27年3月期	56,264	29,219	48.6	660.05

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 27,270百万円 27年3月期 27,323百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	—	—	7.00	7.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

27年3月期期末配当金の内訳 普通配当 6円00銭 特別配当 1円00銭

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,400	3.2	2,000	31.1	2,100	29.4	1,100	20.7	26.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期2Q	45,229,332株	27年3月期	45,229,332株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	3,836,253株	27年3月期	3,833,686株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期2Q	41,394,325株	27年3月期2Q	41,403,179株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11
4. 補足情報	12
生産、受注及び販売の状況	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、中国経済に対する減速懸念が強まったものの、欧州経済の持ち直しや米国経済が堅調に推移したことなどにより緩やかな回復が続きました。

一方、わが国経済は、個人消費の持ち直しに足踏みが見られるものの、政府の経済政策などを背景とした企業収益や雇用情勢の改善により、景気は緩やかに回復しました。

当社グループの主需要先である産業機械業界では受注の減少などがありましたが、建設・建築業界では住宅着工戸数の持ち直しや、造船業界では手持ち工事量に堅調な推移が見られました。

このような状況のもと、当社グループは世界市場に向けた新技術・新製品の開発、また、収益確保を目指した原価低減、経営の効率化に取り組んでまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は224億48百万円（前年同期比5.1%増）、営業利益は9億58百万円（同108.6%増）、経常利益は8億42百万円（同46.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億72百万円（同100.4%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

機械装置

機械装置部門においては、4月にKOIKEテクノセンターにて開催した2015年KOIKEプライベートフェアに、定尺サイズの厚板高速加工が可能なファイバーレーザー切断機「FIBERTEC-Zシリーズ」や新型プラズマ切断装置「SUPER-400PRO-II」などの新製品を展示し、好評を得ることができました。また、高速穴開けが可能な新型ドリル「センターミスト式ドリルユニット」を搭載した厚板用NCガス切断機も受注が増加しました。さらに、新型の溶断用圧力調整器「セフティーゴールドV」、手動ガス切断器「中切/A切 ゴールドライトII」の販売開始に伴い、全国で拡販セール「20%アップキャンペーン」を行い、受注が増加しました。

海外においては、中国で開催された北京エッセンショーに、ナビゲーションシステム搭載のCNC切断機を出展するとともに、造船業界向けのセミナーを開催し、工程の自動化について関心が寄せられ、多くの来訪者を集めることができました。また、タイやインドネシアの展示会に小型CNC切断機などを出展し、積極的な営業活動を行いました。さらに、アジアの当社代理店の営業員に対して日本での販売トレーニングを行い、拡販につなげました。

生産・開発面においては、収益向上のため、生産原価の予実管理を強化し目標原価の遵守を徹底しました。また、レーザー切断機やプラズマ切断機の性能向上に向けて、開発活動を強化しました。

その結果、売上高は102億15百万円（前年同期比8.8%増）、セグメント利益は7億74百万円（同72.0%増）となりました。

高圧ガス

高圧ガス部門においては、切断・溶接装置の販売に伴う新規ガス獲得活動を最重点項目として取り組み、多くの受注につなげることができました。また、水素ベース溶断用混合ガスについては、2015年KOIKEプライベートフェアにて、セミナーの開催や実演を行い、その引き合い先に対して、受注活動に努めました。

工業用ガスにおいては、鉄鋼関連を中心に酸素・窒素・アルゴンなどの主要ガス販売量は前年並みに推移しましたが、アセチレン・ヘリウムは市場の需要が落ち込み、販売量が減少しました。

生産面においては、保安確保・安定供給に取り組むとともに、放置・不明容器撲滅に向けた長期停滞容器回収を強化しました。また、CEの大型化による輸送効率向上と原価低減に努めました。

医療分野においては、酸素濃縮器レンタルでは営業強化、稼働率向上に取り組み前年を上回ったほか、新製品「KM5 5 touch」（酸素濃縮器/タッチパネル・静音・軽量）の販売も順調に伸ばすことができました。また、「ジャスミン」（睡眠時無呼吸症候群治療装置）の製品改良により評価も高まり契約を伸ばしました。

その結果、売上高は75億95百万円（前年同期比1.7%減）、セグメント利益は4億61百万円（同21.2%増）となりました。

溶接機材

溶接機材部門においては、当社の主需要先である建築・鉄骨向けの各種工事に一服感があつたものの、首都圏を中心とした再開発事業による需要増加に伴い、昨年を上回る販売量となりました。

溶接機器においては、2015年KOIKEプライベートフェアにて、今後の需要増加が見込まれる水素ガスに主眼を置き、水素ガスに対応するホースを初めて出展し、販売を開始するとともに、水素ガス用逆火防止器の受注活動にも努めました。また、安全器・ホース・マグネットの拡販を目的とした「サマーセール」の実施や、溶接を主体とした各種展示会での溶接機・関連商材の実演PR、溶接機材の物流網を活用した拡販を行い、成果を得ることができました。さらに、大手ユーザーから大型溶接ロボットの新規受注を獲得するとともに、個人向け一般市場への小型の溶接機・プラズマ切断機の販売増加を図るため、JAPAN DIY HOMECENTER SHOW 2015への出展や首都圏のホームセンターでの実演を行い、多くの来場者を集めることができました。

その結果、売上高は43億21百万円（前年同期比8.2%増）、セグメント利益は1億27百万円（同49.9%増）となりました。

その他

その他の部門においては、ガス機器の品質向上・原価低減への取組、積極的な営業活動を行い、大学研究機関へ今年度末にヘリウム液化機2台の納入が予定されております。また、排ガス処理装置は、SEMI規格を取得し、品質の向上に取り組みました。中国では液晶メーカーを中心に販売を行うとともに、国内・台湾では新製品2機種を販売し、好評を得ることができました。

その結果、売上高は3億16百万円（前年同期比28.2%増）、セグメント利益は21百万円（前年同期はセグメント損失11百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は549億76百万円で、前連結会計年度末比12億88百万円の減少となりました。

流動資産合計は313億82百万円で、前連結会計年度末比8億20百万円の減少となりました。これは主に仕掛品が4億94百万円増加の一方、受取手形及び売掛金が12億42百万円減少したことによるものです。

固定資産合計は235億93百万円で、前連結会計年度末比4億67百万円の減少となりました。これは主に投資有価証券が5億81百万円減少したことによるものです。

流動負債合計は193億79百万円で、前連結会計年度末比6億28百万円の減少となりました。これは主に前受金が2億26百万円減少、未払消費税等が1億88百万円減少したことによるものです。

固定負債合計は63億50百万円で、前連結会計年度末比6億87百万円の減少となりました。これは主に長期借入金が3億86百万円減少、繰延税金負債が2億29百万円減少したことによるものです。

純資産合計は292億46百万円で、前連結会計年度末比27百万円の増加となりました。これは主にその他有価証券評価差額金が4億3百万円減少の一方、利益剰余金が3億19百万円増加、為替換算調整勘定が1億86百万円増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は49.6%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は79億63百万円で、前連結会計年度末に比べ2億2百万円の減少となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは10億95百万円の収入（前年同期は21億74百万円の収入）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益の計上と売上債権の回収によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは3億46百万円の支出（前年同期は10億25百万円の支出）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出があったことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは9億58百万円の支出（前年同期は8億44百万円の支出）となりました。これは主に長期借入金の返済による支出があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年5月13日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。詳細につきましては、「平成27年3月期決算短信」3ページ 1. 経営成績 (1) 経営成績に関する分析 ②次期（平成28年3月期）の見通しを参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,881	8,636
受取手形及び売掛金	14,024	12,782
商品及び製品	4,955	4,946
仕掛品	1,278	1,772
原材料及び貯蔵品	2,152	2,185
その他	1,165	1,354
貸倒引当金	△256	△295
流動資産合計	32,203	31,382
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,395	4,280
機械装置及び運搬具(純額)	1,711	1,575
工具、器具及び備品(純額)	496	471
土地	9,883	10,199
リース資産(純額)	954	1,035
建設仮勘定	89	39
有形固定資産合計	17,531	17,603
無形固定資産		
のれん	38	30
リース資産	4	3
その他	203	228
無形固定資産合計	246	262
投資その他の資産	6,283	5,727
固定資産合計	24,061	23,593
資産合計	56,264	54,976

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,008	9,077
電子記録債務	—	1,711
短期借入金	3,547	3,555
1年内返済予定の長期借入金	1,065	1,055
1年内償還予定の社債	40	40
未払法人税等	441	489
賞与引当金	536	493
役員賞与引当金	65	30
受注損失引当金	15	15
製品保証引当金	66	59
関係会社整理損失引当金	—	99
その他	3,222	2,751
流動負債合計	20,007	19,379
固定負債		
社債	20	—
長期借入金	1,859	1,473
役員退職慰労引当金	220	214
退職給付に係る負債	143	132
資産除去債務	14	14
その他	4,778	4,514
固定負債合計	7,037	6,350
負債合計	27,045	25,729
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,028	4,028
資本剰余金	2,357	2,357
利益剰余金	17,545	17,864
自己株式	△916	△917
株主資本合計	23,014	23,332
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,692	1,289
繰延ヘッジ損益	△1	0
土地再評価差額金	1,355	1,218
為替換算調整勘定	924	1,111
退職給付に係る調整累計額	338	318
その他の包括利益累計額合計	4,309	3,937
非支配株主持分	1,895	1,976
純資産合計	29,219	29,246
負債純資産合計	56,264	54,976

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	21,352	22,448
売上原価	15,735	16,356
売上総利益	5,617	6,091
販売費及び一般管理費	5,158	5,133
営業利益	459	958
営業外収益		
受取利息	13	13
受取配当金	33	38
受取賃貸料	42	59
持分法による投資利益	20	23
物品売却益	16	17
為替差益	56	—
貸倒引当金戻入額	41	22
その他	21	17
営業外収益合計	246	191
営業外費用		
支払利息	69	57
賃貸費用	35	15
為替差損	—	213
その他	26	20
営業外費用合計	131	307
経常利益	575	842
特別利益		
固定資産売却益	24	53
投資有価証券売却益	3	—
その他	—	0
特別利益合計	27	53
特別損失		
固定資産除売却損	5	30
減損損失	3	10
のれん償却額	10	—
関係会社整理損失引当金繰入額	—	99
建物解体費用引当金繰入額	13	—
その他	7	—
特別損失合計	40	140
税金等調整前四半期純利益	562	755
法人税、住民税及び事業税	239	486
法人税等調整額	23	△291
法人税等合計	263	195
四半期純利益	298	560
非支配株主に帰属する四半期純利益	62	87
親会社株主に帰属する四半期純利益	236	472

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純利益	298	560
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	212	△399
繰延ヘッジ損益	△0	2
為替換算調整勘定	△279	204
退職給付に係る調整額	△11	△19
その他の包括利益合計	△79	△212
四半期包括利益	219	347
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	167	238
非支配株主に係る四半期包括利益	52	109

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	562	755
減価償却費	630	689
減損損失	3	10
のれん償却額	17	7
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△56	26
賞与引当金の増減額 (△は減少)	57	△45
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△24	△35
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	2	△1
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△9	△6
関係会社整理損失引当金の増減額 (△は減少)	—	99
建物解体費用引当金の増減額 (△は減少)	13	—
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△9	△6
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	43	△19
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△11	△10
受取利息及び受取配当金	△47	△52
支払利息	69	57
持分法による投資損益 (△は益)	△20	△23
固定資産除売却損益 (△は益)	△19	△23
有価証券及び投資有価証券売却損益 (△は益)	△3	—
関係会社株式評価損	1	—
売上債権の増減額 (△は増加)	1,595	989
たな卸資産の増減額 (△は増加)	125	△514
仕入債務の増減額 (△は減少)	△722	△328
未払消費税等の増減額 (△は減少)	12	△188
その他	198	157
小計	2,407	1,537
利息及び配当金の受取額	56	60
利息の支払額	△69	△62
法人税等の支払額	△220	△439
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,174	1,095

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,473	△1,241
定期預金の払戻による収入	1,227	1,283
有形固定資産の取得による支出	△908	△732
有形固定資産の売却による収入	79	412
無形固定資産の取得による支出	△43	△62
投資有価証券の取得による支出	△10	△12
投資有価証券の売却による収入	5	—
貸付金の回収による収入	97	6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,025	△346
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,061	36
長期借入れによる収入	1,277	157
長期借入金の返済による支出	△607	△546
社債の償還による支出	△20	△20
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△165	△289
非支配株主への配当金の支払額	△21	△22
その他	△245	△273
財務活動によるキャッシュ・フロー	△844	△958
現金及び現金同等物に係る換算差額	△65	6
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	238	△202
現金及び現金同等物の期首残高	7,300	8,166
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	21	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,560	7,963

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	機械装置	高压ガス	溶接機材	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	9,386	7,723	3,995	21,106	246	21,352	—	21,352
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	9,386	7,723	3,995	21,106	246	21,352	—	21,352
セグメント利益 又は損失(△)	450	380	84	915	△11	904	△445	459

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、燃焼式排ガス処理装置、ヘリウム液化機の製造・仕入・販売業が含まれております。

2. セグメント利益の調整額△445百万円には、セグメント間取引消去67百万円、のれんの償却額△6百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△508百万円、棚卸資産の調整額△11百万円、その他の調整額13百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	機械装置	高压ガス	溶接機材	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	10,215	7,595	4,321	22,132	316	22,448	—	22,448
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	10,215	7,595	4,321	22,132	316	22,448	—	22,448
セグメント利益	774	461	127	1,363	21	1,384	△426	958

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、燃焼式排ガス処理装置、ヘリウム液化機の製造・仕入・販売業が含まれております。

2. セグメント利益の調整額△426百万円には、セグメント間取引消去69百万円、のれんの償却額7百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△517百万円、棚卸資産の調整14百万円、その他の調整額△1百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第2四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	前年同四半期比 (%)
機械装置 (百万円)	9,134	114.4
高压ガス (百万円)	173	97.3
報告セグメント計 (百万円)	9,308	114.1
その他 (百万円)	—	—
合計 (百万円)	9,308	114.1

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。
2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注状況

当第2四半期連結累計期間における受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (百万円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
機械装置	7,671	91.4	6,368	110.2

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。
2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。
3. 受注高及び受注残高につきましては、標準機・部品等の金額を含めておりません。

(3) 販売実績

当第2四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	前年同四半期比 (%)
機械装置 (百万円)	10,215	108.8
高压ガス (百万円)	7,595	98.3
溶接機材 (百万円)	4,321	108.2
報告セグメント計 (百万円)	22,132	104.9
その他 (百万円)	316	128.2
合計 (百万円)	22,448	105.1

- (注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。